

ハンプ注射用 1000 配合変化試験

(2022 年 3 月改訂)

配合変化試験方法

(1) 配合方法

1 法（注射剤）：ハンプ注射用 1000 の 1 バイアルを注射用水 5mL に溶解したものに、配合製剤を混合した。

また、用時溶解して用いる注射剤は、配合製剤を電子添文に従い溶解したものを混合した。

2 法（輸液）：ハンプ注射用 1000 の 1 バイアルを注射用水 5mL に溶解し、配合製剤 45mL で希釈した。

3 法（輸液）：ハンプ注射用 1000 の 1 バイアルを注射用水 2mL に溶解し、その 1mL を配合製剤 50mL に混合した。

(2) 保存条件

室内散光下、室温保存（配合製剤がしゃ光保存の場合は配合液をしゃ光保存）

(3) 試験項目

外観、pH、含量（HPLC 法）

(4) 観察時間

外観、含量については、配合直後、配合後 1、3、6、24 時間の値を示した。

また、pH については、配合直後、配合後 24 時間の値を示した。

結果表示方法

(1) 外観

■：外観に変化あり。

(2) 含量

■：対表示含量 90%未満に低下。

網掛けは小数点以下第 1 位を四捨五入して 90%未満の場合に表示している。（89.5%未満に網掛け）

—：測定せず。

記載されている配合薬剤名は各試験実施当時のものである。

分類	配合剤		配合方法	配合量	外 観 変化あり					pH		対表示含量 90%未満				
	製品名	主成分名			直後	1hr	3hr	6hr	24hr	直後	24hr	直後	1hr	3hr	6hr	24hr
強 心 剤	アデル点滴静注用 5mg	コルホルシンダロバ ート塩酸塩	1	5mg/5mL (生理食塩液)	無色澄明					4.9	4.8	99.5	—	—	98.0	94.1
	イノバン注 50mg	ドパミン塩酸塩	1	50mg/2.5mL	無色澄明					4.7	4.1	73.6	33.0	—	—	—
	コアテック注 5mg	オルプリノン塩酸塩 水和物	1	5mg/5mL	無色澄明				※	4.3	4.3	94.1	—	—	92.8	93.6
				ハンブ希釈時*	無色澄明				※	4.4	4.3	90.9	—	—	91.7	87.1
	ジギラノゲン注 0.4mg	デスラノシド	1	0.4mg/2mL	無色澄明					5.1	5.2	95.8	—	—	95.7	96.8
	ジゴシン注 0.25mg	ジゴキシン	1	0.25mg/1mL	無色澄明				※	5.2	5.1	98.4	—	—	97.0	97.5
	ドブトレックス注射液 100mg	ドブタミン塩酸塩	1	100mg/5mL	無色澄明					3.3	3.4	85.6	66.9	—	—	—
	ノルアドリナリン注 1mg	ノルアドレナリン	1	1mg/1mL	無色澄明					3.3	3.3	92.2	88.5	—	76.8	—
	ボスミン注 1mg	アドレナリン	1	1mg/1mL	無色澄明					3.8	3.9	79.0	69.5	—	55.6	—
	ミルリナー注射液 10mg	ミルリノン	1	10mg/10mL	無色澄明					3.7	3.7	94.6	—	—	94.5	94.3
			ハンブ希釈時*	無色澄明					3.7	3.7	90.9	—	—	90.4	90.4	

— : 測定せず。

* : ハンブ注射用 1000 の 1 バイアルを注射用水 5mL で溶解し、生理食塩液 45mL を加えた溶液 (計 50mL) に、配合製剤 1 本全量を配合した。

※ : ごくわずかに無色の不溶性異物を認めた。

分類	配合剤		配合方法	配合量	外 観 変化あり					pH		対表示含量 90%未満				
	製品名	主成分名			直後	1hr	3hr	6hr	24hr	直後	24hr	直後	1hr	3hr	6hr	24hr
血 管 拡 張 剤	シグマート注 2mg	ニコランジル	1	2mg/6.7mL (5%ブドウ糖液)	無色澄明					6.4	6.3	98.2	—	—	97.7	98.2
			1	2mg/6.7mL (生理食塩液)	無色澄明					5.8	5.9	99.1	—	—	99.3	98.3
	ニトロール注 5mg	硝酸イソソルビド	1	5mg/10mL	無色澄明					4.8	4.8	99.0	—	—	98.4	98.0
	ヘルベッサー注射用 50	ジルチアゼム塩酸塩	1	50mg/5mL (生理食塩液)	無色澄明					5.1	5.1	98.2	95.0	96.7	98.3	103.4
	ミリスロール注 1mg/2mL	ニトログリセリン	1	1mg/2mL	無色澄明					5.0	5.1	98.6	—	—	97.9	96.8
血 圧 降 下 剤	アプレゾリン注射用 20mg	ヒドララジン塩酸塩	1	20mg/1mL (注射用水)	無色澄明					4.8	4.7	98.4	—	—	98.8	97.4
	ベルジペン注射液 10mg	ニカルジピン塩酸塩	1	10mg/10mL	微黄色 澄明					3.9	3.8	97.3	—	—	96.3	97.6
不 整 脈 用 剤	アンカロン注 150	アミオダロン塩酸塩	1	150mg/3mL	微黄色 澄明				※1	4.0	4.0	81.2	—	—	83.4	80.9
	インデラル注射液 2mg	プロプラノロール塩 酸塩	1	2mg/2mL	無色澄明					3.6	3.6	33.3	—	—	34.7	31.8
	注射用オノアクト 50†	ランジオロール塩酸 塩	1	50mg/5mL (生理食塩液)	無色澄明					5.5	5.4	2.1	—	—	—	—
	シンビット静注用 50mg	ニフェカレント塩酸塩	1	50mg/10mL (生理食塩液)	無色澄明					5.3	4.8	95.7	—	—	95.2	96.3
			1	50mg/10mL (5%ブドウ糖液)	無色澄明					4.7	4.7	97.5	—	—	98.8	95.8
	メキシチール点滴静注 125mg	メキシレチン塩酸塩	1	125mg/5mL	無色澄明					4.9	4.8	95.5	93.8	93.7	93.7	93.2
	リスモダン P 静注 50mg	ジソピラミドリン酸塩	1	50mg/5mL	無色澄明				※2	4.8	4.8	93.4	—	—	95.3	94.4
ワソラン静注 5mg	ベラパミル塩酸塩	1	5mg/2mL	無色澄明					5.1	5.1	98.0	—	—	99.2	98.6	
そ の 他 の 循 環 器 官 用 薬	プロスタンディン点滴 静注用 500µg	アルプロスタジルアル ファデクス	1	500µg/100mL (生理食塩液)	無色澄明					5.2	5.1	91.5	—	—	90.8	88.7
	リプル注 10µg	アルプロスタジル	1	10µg/2mL	白濁の液					5.3	5.2	96.1	—	—	96.5	95.7

— : 測定せず。

※1 : 微黄色の液でごくわずかに不溶性異物を認めた。

※2 : ごくわずかに無色の不溶性異物を認めた。

† : オノアクト点滴静注用 50mg で販売 (2022 年 3 月現在)

分類	配合剤		配合方法	配合量	外 観 変化あり					pH		対表示含量 90%未満				
	製品名	主成分名			直後	1hr	3hr	6hr	24hr	直後	24hr	直後	1hr	3hr	6hr	24hr
利尿剤※1	ソルダクトン静注用200mg	カンレノ酸カリウム	1	200mg/20mL (注射用水)	微黄色澄明			無色澄明		9.3	9.3	86.4	85.0	88.8	—	—
	ダイアモックス注射用500mg	アセタゾラミドナトリウム	1	500mg/5mL (注射用水)	無色澄明					9.1	9.1	92.8	—	—	85.5	74.1
	ラシックス注20mg	フロセミド	1	20mg/2mL	白色濁り	無色澄明			※2	8.3	7.8	88.2	—	—	89.5	84.4
止血剤	アドナミン静注100mg†	カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム水和物	1	100mg/20mL	橙黄色澄明					5.8	5.8	93.3	—	—	92.8	90.8
	トランサミン注10%	トラネキサム酸	1	10%/10mL	無色澄明					7.4	7.4	96.4	—	—	94.8	94.8
血液凝固阻止剤	フラグミン静注5000単位/5mL	ダルテパリンナトリウム	1	5000 単位/5mL	不溶性異物を認めた					5.9	5.8	ND	—	—	—	—
	ヘパフラッシュ10単位/mL シリンジ5mL	ヘパリンナトリウム	1	50 単位/5mL	わずかに白色濁り				白色沈殿	4.8	5.1	—*	—	—	—	—
			*	50 単位/5mL	無色澄明					6.0	5.0	—*	—	—	—	—
	ヘパフラッシュ100単位/mL シリンジ5mL	ヘパリンナトリウム	1	500 単位/5mL	無色澄明	※3				5.5	5.6	—*	—	—	—	—
			*	500 単位/5mL	無色澄明		※3			5.5	5.6	—*	—	—	—	—
	ヘパリンナトリウム注N5千単位/5mL「AY」	ヘパリンナトリウム	1	5000 単位/5mL	無色澄明				※2	5.5	5.5	—*	—	—	—	—
	ヘパリンナトリウム注N1万単位/10mL「AY」	ヘパリンナトリウム	1	10000 単位/10mL	無色澄明				※2	6.3	6.4	—*	—	—	—	—
	ヘパリンNa ロック用10単位/mL シリンジ「オーツカ」5mL	ヘパリンナトリウム	1	50 単位/5mL	白色濁り				白色沈殿	5.9	5.9	—*	—	—	—	—
			*	50 単位/5mL	無色澄明			※3		6.1	6.0	—*	—	—	—	—
	ヘパリンNa ロック用100単位/mL シリンジ「オーツカ」5mL	ヘパリンナトリウム	1	500 単位/5mL	白色沈殿					5.9	5.8	—*	—	—	—	—
*			500 単位/5mL	無色澄明		白色沈殿			5.1	5.3	—*	—	—	—	—	

— : 測定せず。

—* : 配合剤との分離が困難なため含量は測定せず。

* : ハンプ注射用1000の1バイアルを注射用水5mLで溶解し、生理食塩液45mLを加えた溶液(計50mL)に、配合剤1本全量を配合した。

※1 : 併用注意。ハンプ注射用1000は利尿作用を有するため、利尿作用が増強することがある。

※2 : 白色の濁りを生じ、白色の不溶性異物を認めた。

※3 : 白色の不溶性微粒子を認めた。

ND : カルベリチドピークを検出しなかった。

† : カルバゾクロムスルホン酸Na静注100mg「トロー」で販売(2022年3月現在)

分類	配合剤		配合方法	配合量	外 観 変化あり					pH		対表示含量 90%未満				
	製品名	主成分名			直後	1hr	3hr	6hr	24hr	直後	24hr	直後	1hr	3hr	6hr	24hr
血液代用剤	アクチット輸液	アセテート維持液	3	50mL	無色澄明					5.3	5.4	99.5	—	—	97.1	95.3
	EL-3号輸液	輸液用電解質液(維持液)	3	50mL	無色澄明					5.4	5.4	96.4	—	—	96.4	96.6
	ヴィーンD輸液	ブドウ糖加アセテートリンゲル液	3	50mL	無色澄明					5.4	5.4	96.7	—	—	94.5	92.9
	ヴィーンF輸液	アセテートリンゲル液	3	50mL	無色澄明					6.7	6.8	88.5	—	—	—	—
	大塚生食注	生理食塩液	5mLで直接溶解		無色澄明					5.0	5.0	96.2	—	—	96.6	97.1
					25mL	無色澄明				5.4	5.5	97.9	—	—	98.4	97.0
					35mL	無色澄明				5.6	5.6	98.2	—	—	96.8	95.1
					45mL	無色澄明				5.6	5.6	96.0	—	—	96.1	93.7
	クリニザルツ輸液	電解質・キシリトール輸液(維持液)	3	50mL	無色澄明					5.7	5.7	94.0	—	—	94.8	94.9
	KN1号輸液	総合電解質輸液(開始液)	3	50mL	無色澄明					4.6	4.6	98.3	—	—	95.1	92.5
	KN3号輸液	総合電解質輸液(維持液)	3	50mL	無色澄明					5.4	5.4	95.6	—	—	93.2	91.2
	KCL注10mEqキット「テルモ」	補正用1モル塩化カリウム液	**	**参照	淡黄色澄明					5.1	5.0	99.0	—	—	96.5	94.6
	ソリターT1号輸液	輸液用電解質液(開始液)	3	50mL	無色澄明					5.4	5.4	96.2	—	—	93.7	91.1
ソリターT3号輸液	輸液用電解質液(維持液)	3	50mL	無色澄明					5.5	5.5	94.6	—	—	93.5	91.6	
ソルデム1輸液	ブドウ糖-電解質液(開始液)	3	50mL	無色澄明			※		5.8	5.9	93.0	—	—	93.3	91.5	

— : 測定せず。

* : ハンプ注射用1000の1バイアルを注射用水5mLで溶解し、大塚生食注25、35、45mLで希釈した。

** : 配合剤2mLに注射用水を加えて50mLとし、この液40mLをとりハンプ注射用1000の2バイアル(各バイアル注射用水5mLで溶解)を配合した。

※ : ごくわずかに不溶性異物を認めた。

分類	配合剤		配合方法	配合量	外 観 変化あり					pH		対表示含量 90%未満				
	製品名	主成分名			直後	1hr	3hr	6hr	24hr	直後	24hr	直後	1hr	3hr	6hr	24hr
血液 代 用 剤	低分子デキストラン L 注	低分子デキストラン加乳酸リンゲル液	3	50mL	無色澄明					5.4	5.4	96.6	—	—	91.6	87.3
	ハルトマン液 pH: 8-「HD」†	乳酸リンゲル液	2	45mL	無色澄明					8.1	8.1	93.9	—	—	94.6	92.0
	ピカーボン輸液	重炭酸リンゲル液	3	50mL	無色澄明					7.3	7.3	94.4	—	—	91.3	90.3
	フィジオゾール 3号輸液	総合電解質輸液（維持液 10%糖加）	3	50mL	無色澄明					4.7	4.7	97.0	—	—	92.4	89.2
	ポタコール R 輸液	5%マルトース加乳酸リンゲル液	3	50mL	無色澄明					4.9	4.9	97.2	—	—	90.3	89.9
	ラクテック注	乳酸リンゲル液	5mL で直接溶解		無色澄明					5.9	5.9	96.7	—	—	97.6	95.6
			* 25mL		無色澄明					6.5	6.4	96.5	—	—	95.6	96.5
			35mL		無色澄明					6.4	6.4	98.0	—	—	96.7	94.0
			45mL		無色澄明					6.5	6.4	94.1	—	—	96.4	92.7
	ラクテック D 輸液	5%ブドウ糖加乳酸リンゲル液	3	50mL	無色澄明					4.9	4.9	95.0	—	—	92.8	89.0
ラクテック G 輸液	5%ソルビトール加乳酸リンゲル液	5mL で直接溶解		無色澄明					5.4	5.4	98.1	—	—	98.2	98.4	
		* 25mL		無色澄明					5.7	5.7	98.9	—	—	97.5	97.0	
		35mL		無色澄明					5.8	5.7	98.7	—	—	98.1	96.3	
		45mL		無色澄明					5.5	5.8	97.9	—	—	97.0	95.5	
糖 類 剤	キシリトール注 5%「フソー」	キシリトール	3	50mL	無色澄明					5.3	5.2	99.5	—	—	96.6	94.3
	テルモ糖注 TK	ブドウ糖	5mL で直接溶解		無色澄明					5.2	5.5	97.2	—	—	98.0	94.8
			10mL で直接溶解		無色澄明					5.2	5.7	97.7	—	—	96.8	97.6
			100mL で直接溶解		無色澄明					5.2	5.8	96.9	—	—	96.2	95.5
			2 45mL		無色澄明					5.0	5.1	99.9	—	—	98.4	99.7
	ハイカリック液-1号	高カロリー輸液用基本液	3	50mL	無色澄明					※	4.4	4.4	93.2	—	—	92.5
マルトース輸液 10%	マルトース水和物	3	50mL	無色澄明					4.4	4.5	99.9	—	—	97.6	95.8	

— : 測定せず。

* : ハンプ注射用 1000 の 1 バイアルを注射用水 5mL で溶解し、配合剤 25、35、45mL で希釈した。

※ : ごくわずかに不溶性異物を認めた。

† : ハルトマン輸液 pH 8「NP」で販売（2022年3月現在）

分類	配合剤		配合方法	配合量	外 観 変化あり					pH		対表示含量 90%未満					
	製品名	主成分名			直後	1hr	3hr	6hr	24hr	直後	24hr	直後	1hr	3hr	6hr	24hr	
たん 白 ア ミ ノ 酸 製 剤	アミゼット B 輸液	総合アミノ酸製剤	3	50mL	無色澄明					6.5	6.5	32.6	14.6	—	—	—	
	アミニック輸液	総合アミノ酸製剤	3	50mL	無色澄明					7.2	7.2	14.8	8.6	—	—	—	
	アミノレバン点滴静注	肝性脳症改善アミノ酸注射液	3	50mL	無色澄明					5.9	5.9	13.9	11.2	—	—	—	
	アミパレン輸液	総合アミノ酸製剤	3	50mL	無色澄明					7.0	7.0	5.2	4.3	—	—	—	
	ネオパレン 1号輸液	高カロリー輸液用糖・電解質・アミノ酸・総合ビタミン液	3	50mL	黄色澄明					5.6	5.6	39.8	—	—	—	—	
	ビーフリード輸液	ビタミン B ₁ ・糖・電解質・アミノ酸液	3	50mL	無色澄明					※	6.8	6.7	14.9	—	—	—	—
	ブラスアミノ輸液	ブドウ糖加アミノ酸注射液	3	50mL	無色澄明					4.5	4.5	85.0	49.2	—	—	—	
	フルカリック 1号輸液	高カロリー輸液用総合ビタミン・糖・アミノ酸・電解質液	3	50mL	黄色澄明					5.0	5.0	17.6	—	—	—	—	
	プロテアミン 12 注射液	総合アミノ酸製剤	3	50mL	無色澄明					6.1	6.1	50.2	35.9	—	—	—	
	モリブロン F 輸液	総合アミノ酸製剤	3	50mL	無色澄明					6.0	6.0	39.6	20.6	—	—	—	

— : 測定せず。

※ : ごくわずかに不溶性異物を認めた。

配合剤			配合方法	配合量	外 観 変化あり					pH		対表示含量 90%未満				
分類	製品名	主成分名			直後	1hr	3hr	6hr	24hr	直後	24hr	直後	1hr	3hr	6hr	24hr
ビタミン剤	ケイツーN 静注 10mg	メナテトレノン	1	10mg/2mL	微黄色半透明					6.2	6.2	96.6	—	—	93.0	88.1
	ピタシミン注射液 500mg	アスコルビン酸	1	500mg/2mL	無色澄明				微黄色澄明	6.7	6.7	75.8	—	—	77.4	75.7
	ピタジェクト注キット	高カロリー輸液用総合ビタミン剤	1	10mL	黄色澄明			※1		4.9	4.9	95.3	—	—	93.2	88.8
	ピタメジン静注用	VB ₁ 、VB ₆ 、VB ₁₂ 複合剤	1	20mL (注射用水)	微赤色澄明					4.6	4.6	93.7	—	—	92.3	89.4
カルシウム剤	大塚塩カル注 2%	塩化カルシウム水和物	1	2%/20mL	無色澄明					4.8	5.3	91.5	—	—	91.8	90.3
	カルチコール注射液 8.5%/10mL	グルコン酸カルシウム水和物	1	8.5%/10mL	無色澄明					6.6	6.7	92.7	—	—	91.8	89.8
他に分類されない代謝性医薬品	注射用エフオーワイ 100	ガベキサートメシル酸塩	1	100mg/5mL (注射用水)	無色澄明					5.1	4.7	96.0	—	—	95.4	98.1
	注射用エラスポール 100	シプレスタットナトリウム水和物	1*	300mg/90mL (生理食塩液)	無色澄明					7.4	7.3	85.5	86.0	—	—	—
	注射用フサン 10	ナファモスタットメシル酸塩	1	10mg/10mL (注射用水)	無色澄明					4.0	4.0	97.4	—	—	95.4	94.4
	プログラフ注射液 2mg	タクロリムス水和物	1	2mg/0.4mL	無色澄明		※2	※3		5.5	5.2	98.3	—	—	95.7	91.6
無機質製剤	アスパラカリウム注 10mEq	L アスパラギン酸カリウム	1	17.12%/10mL	無色澄明					7.2	7.1	90.6	—	—	90.9	90.9
	エレメンミック注	高カロリー輸液用微量元素製剤	**	**を参照	微黄色澄明				※4	6.3	6.3	—	—	—	—	—
	フェジン静注 40mg	含糖酸化鉄	1	40mg/2mL	茶色濁り ^{※5}					10.0	9.6	83.4	—	—	48.4	24.5

— : 測定せず。

* : エラスポール 3 バイアル (1 バイアル/生理食塩液 30mL) をまとめ (計 90mL)、ハンブ注射用 1000 の 1 バイアル (注射用水 5mL で溶解) と混合した。

** : エレメンミック注 100μL と R-500 33.5mL を混合し、この溶液 3.3mL にハンブ注射用 1000 の 1 バイアル (注射用水 6.7mL を加えて溶解) を混合した。

(R-500 : 70%ブドウ糖液 350mL、ネオアミュー 200mL、注射用水 100mL を混和し調製)

※1 : 黄色の液で不溶性異物を認めた。

※2 : わずかに不溶性異物を認めた。

※3 : 不溶性異物を認めた。

※4 : 微黄色澄明の液で、白色の沈殿を生じた。

※5 : ハンブ注射用 1000 の 1 バイアルを注射用水 5mL に溶解し、配合製剤 50μL と混和したときの結果を記載した。

分類	配合剤		配合方法	配合量	外 観 変化あり					pH		対表示含量 90%未満				
	製品名	主成分名			直後	1hr	3hr	6hr	24hr	直後	24hr	直後	1hr	3hr	6hr	24hr
抗生物質製剤	スルベラゾン 静注用 0.5g	スルバクタムナトリウム・セフォペラゾンナトリウム	1	0.5g/10mL (注射用水)	白濁の液					5.1	4.8	23.3	—	—	—	—
	セファメジン α 注射用 1g	セファゾリンナトリウム水和物	1	1g/20mL (注射用水)	無色澄明					5.3	5.8	—*	—	—	—	—
	ゾシン静注用 2.25	タゾバクタムナトリウム・ピペラシリンナトリウム	1	2.25g/100mL (生理食塩液)	無色澄明				※1	5.4	4.8	—*				
	チエナム点滴静注用 0.5g	イミベネム水和物・シラスタチンナトリウム	1	0.5g/100mL (生理食塩液)	無色澄明				微黄色澄明	7.3	6.5	—*	—	—	—	—
	パンスポリン静注用 1g	セフォチアム塩酸塩	1	1g/20mL (注射用水)	淡黄色澄明					6.0	6.1	—*	—	—	—	—
	ファーストシン静注用 0.5g	セフォゾブラン塩酸塩	1	0.5g/10mL (注射用水)	黄色澄明		※2		※3	8.2	7.7	95.0	87.9	79.5	66.6	24.5
	フルマリン静注用 1g	フロモキシセフナトリウム	1	1g/20mL (注射用水)	無色澄明				淡黄色澄明	5.2	5.3	—*	—	—	—	—
	ペントシリン注射用 1g	ピペラシリンナトリウム	1	1g/20mL (注射用水)	無色澄明					5.5	5.0	—*	—	—	—	—
	注射用マキシビーム 0.5g	セフェピム塩酸塩水和物	1	0.5g/20mL (注射用水)	淡黄色澄明	※4	※3			4.9	4.8	97.1	—	—	94.4	—
	ミノマイシン点滴静注用 100mg	ミノサイクリン塩酸塩	1	100mg/100mL (5%ブドウ糖注)	微黄色澄明					3.0	3.0	95.8	—	—	95.3	94.7
	メロベ点滴用バイアル 0.25g	メロベネム水和物	1	0.25g/100mL (生理食塩液)	無色澄明					7.9	7.8	88.7	89.3	89.2	89.8	79.3
	モダシン静注用 0.5g	セフタジジム水和物	1	0.5g/10mL (注射用水)	微黄色澄明		※5			6.2	6.5	89.0	65.2	50.5	20.5	1.0
	ユナシン-Sキット静注用 1.5g	スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム	1	1.5g/100mL (添付溶解液)	無色澄明					9.0	8.1	—*	—	—	—	—
	ロセフィン静注用 1g	セフトリアキソンナトリウム水和物	1	1g/10mL (注射用水)	淡黄色澄明			※6		6.6	6.7	91.0	89.2	82.9	76.9	46.8

- : 測定せず。
 —* : 配合剤との分離が困難なため含量は測定せず。
 ※1 : わずかに不溶性異物を認めた。
 ※2 : 黄色の液でわずかに不溶性異物を認めた。
 ※3 : 淡黄色の液で不溶性異物を認めた。
 ※4 : 淡黄色の液でわずかに不溶性異物を認めた。
 ※5 : 微黄色の液で不溶性異物を認めた。
 ※6 : 淡黄色の液でごくわずかに不溶性異物を認めた。

分類	配合剤		配合方法	配合量	外 観 変化あり					pH		対表示含量 90%未満				
	製品名	主成分名			直後	1hr	3hr	6hr	24hr	直後	24hr	直後	1hr	3hr	6hr	24hr
鎮けい剤	ブスコパン注 20mg	ブチルスコポラミン臭化物	1	20mg/1mL	無色澄明					4.9	5.0	96.9	95.8	95.3	95.7	96.1
	アトロピン硫酸塩注 0.5mg 「タナベ」	アトロピン硫酸塩水和物	1	0.5mg/1mL	無色澄明					5.0	5.0	95.9	—	—	94.8	95.3
催眠鎮静剤	ドルミカム注射液 10mg	ミダゾラム	1	10mg/2mL	無色澄明					3.8	3.6	97.6	—	—	96.6	96.3
解熱消炎剤	プレセデックス静注液 200μg 「マルイシ」	デクスメドミジン塩酸塩	1*	200μg/2mL	無色澄明					5.2	5.3	94.9	—	—	92.2	91.4
	ソセゴン注射液 30mg	ペンタゾシン	1	30mg/1mL	無色澄明					4.2	4.2	68.9	—	—	—	—
消化性潰瘍用剤	レバタン注 0.2mg	ブプレノルフィン塩酸塩	1	0.2mg/1mL	無色澄明		※			4.6	4.7	97.3	95.3	96.7	—	—
	ガスター注射液 20mg	ファモチジン	1	20mg/20mL (生理食塩液)	無色澄明					6.0	6.0	96.2	—	—	95.6	95.6
	ザンタック注射液 50mg	ラニチジン塩酸塩	1	50mg/2mL	無色澄明					7.0	7.0	95.7	—	—	94.0	94.0
副腎ホルモン剤	タガメット注射液 200mg	シメチジン	1	200mg/2mL	無色澄明					5.6	5.6	94.6	—	—	94.6	95.9
	ソル・コーテブ静注用 500mg	ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム	1	500mg/4mL (添付溶解液)	微黄色澄明					7.4	7.3	73.1	—	—	—	—
	デカドロン注射液 3.3mg	デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム	1	3.3mg/1mL	無色澄明					7.5	7.5	88.9	85.7	83.7	72.4	62.0

- : 測定せず。
 * : 電子添文に従い、配合剤を希釈して配合した。
 ハンプ注射用 1000 の 1 バイアルを注射用水 5mL で溶解し、これにプレセデックス静注液 200μg 「マルイシ」 2mL を生理食塩液 48mL に混和した液を配合した。(デクスメドミジン塩酸塩濃度 3.6μg/mL、カルベリチド濃度 18.2μg/mL)
 ※ : ごくわずかに不溶性異物を認めた。

分類	配合剤		配合方法	配合量	外 観 変化あり					pH		対表示含量 90%未満				
	製品名	主成分名			直後	1hr	3hr	6hr	24hr	直後	24hr	直後	1hr	3hr	6hr	24hr
その他のホルモン剤	ノボリン R 注 100 単位/mL	ヒトインスリン	1	1000 単位/10mL	白色濁り					7.2	6.8	75.7	—	—	70.3	62.2
	ヒューマリン 3/7 注 100 単位/mL	ヒトインスリン (遺伝子組換え)	1	1000 単位/10mL	白濁の液					7.4	7.4	82.5	84.0	81.9	81.7	81.9
	ヒューマリン R 注 100 単位/mL	ヒトインスリン (遺伝子組換え)	1	1000 単位/10mL	白濁の液					6.8	6.7	78.0	—	—	72.9	67.2
その他	5-FU 注 250 協和 ^{†1}	フルオロウラシル	1	250mg/5mL	無色澄明					8.4	8.4	96.3	—	—	92.8	84.6
	モルヒネ塩酸塩注射液 10mg 「シオノギ」	モルヒネ塩酸塩水和物	1	10mg/1mL	無色澄明					4.6	4.6	96.8	—	—	95.1	95.4
	イントラリボス輸液 10%	精製大豆油	3	50mL	白濁の液					6.6	6.8	76.6	—	—	—	—
	キシロカイン注射液 2% ^{†2}	リドカイン塩酸塩	*	2%/10mL	無色澄明					6.5	6.5	98.3	—	—	97.3	96.1
	強力ネオミノファーゲンシー静注 20mL	グリチルリチン酸一アンモニウム	1	20mL	無色澄明	白色濁り				6.5	6.5	—	—	—	—	—
	ピトレスイン注射液 20	合成バソプレシン	1	20 バソプレシン 単位/1mL	無色澄明					4.2	4.2	69.0	—	—	67.6	65.7
	ファンガード点滴用 25mg	ミカファンギンナトリウム	1	25mg/10mL (生理食塩液)	不溶性異物を認めた	濁りを生じた				5.2	5.4	0.2	—	—	—	—
	フェンタニル注射液 0.1mg 「第一三共」	フェンタニルクエン酸塩	1	0.1mg/2mL	無色澄明					5.2	5.2	95.6	—	—	94.2	93.8
	メイロン静注 7%	炭酸水素ナトリウム	1	20mL	無色澄明			※		7.9	8.1	89.5	90.1	86.7	82.7	73.0
	ラボナール注射用 0.5g	チオペンタールナトリウム	1	0.5g/20mL (添付溶解液)	微黄色澄明					10.8	10.7	100.0	73.1	—	—	—
ロルファン注射液 1mg	レバロルフファン酒石酸塩	1	1mg/1mL	無色澄明					4.3	4.3	96.6	—	—	93.9	96.4	

— : 測定せず。

* : ハンプ注射用 1000 の 1 バイアル (注射用水 5mL で溶解) と配合剤 10mL を配合した。

※ : ごくわずかに不溶性異物を認めた。

†1 : 5-FU 注 250mg で販売 (2022 年 3 月現在)

†2 : 静注用キシロカイン 2% で販売 (2022 年 3 月現在)